

第81回日本公衆衛生学会総会（山梨） シンポジウム12

2022年10月8日 9：30～10：20

これでいい！？ 若手公衆衛生医師の キャリアと育て方

座長

町田宗仁 国立保健医療科学院

吉田穂波 神奈川県立保健福祉大学

* 本発表に関連して開示すべきCOI関係にある企業等はありません

厚生労働科学研究

「公衆衛生医師の人材育成に向けた好事例の横展開に向けた研究」(令和4年度)

立ち上げの背景

- COVID-19のまん延は、保健所を中心とした健康危機管理の重要性を浮き彫りに
- この業務を担う公衆衛生医師確保や人材育成は、長年の懸案
- 全国保健所長会によるキャリアパスに関するセミナー
(「地域保健総合推進事業」平成23年度～)
- 事業成果として「自治体における公衆衛生医師の確保・育成のガイドライン」を策定(平成29年度)
- 保健所医師の欠員、保健所長の兼務状態はいまだ解消せず
- 近年、感染症や自然災害発生時の対応など、地域保健が直面する重大事案が続発し、公衆衛生医師のコンピテンシーの更なるアップグレードも要する

2022

今年の夏、
未来の仲間が
東京で待っている。

公衆衛生

若手医師・医学生サマーセミナー

日程 | 2022年8月20日(土)・21日(日)

会場 | 都市センターホテル 601会議室
東京メトロ「永田町」駅 徒歩4分

講義・ワーク

- 01 公衆衛生医師が身につけるコンピテンシー
- 02 頼るスキル(受援力)と組織づくり
- 03 被災地 福島の復興再生に保健所は何かできるか
- 04 ウクライナ避難民支援における公衆衛生の役割

交流の
チャンス!

参加者、ゲスト講師、
全国保健所長会
スタッフらと
交流できます!

参加申込 ▶▶▶

選考 30名

締切 8月1日 月



主催

全国保健所長会/日本公衆衛生協会
令和4年度厚生労働省地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」
分担事業者 横山勝教(香川県東讃保健所)

問合せ

運営委員長 山本信太郎(福岡市南保健所)
事務局 日本公衆衛生協会 若井・斉藤
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
TEL:03-3352-4284 E-mail:entry.phcd@gmail.com

この4時間が、
あなたの人生を
変えるかもしれない。

公衆衛生医師 WEB合同相談会 2022

2022年9月17日(土) 13:00▶17:00

講演

公衆衛生医師のキャリアパス
保健所・厚生労働省医系技官の1日
社会医学系専門医制度

グループ
相談会

30分間
×
3回

定員
先着100名
申込は→



主催

全国保健所長会/日本公衆衛生協会
令和4年度厚生労働省地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」
分担事業者 横山勝教(香川県東讃保健所)
運営委員長 堀切 将(福島県相双保健所)

問合せ

事務局 日本公衆衛生協会 若井・斉藤
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
☎ 03-3352-4284 ✉ entry.phcd@gmail.com

詳しくは



今後の取り組み紹介

公衆衛生ウインター セミナー2022

オンライン開催

開催日：2022年12月
17日(土)13:30-16:30



2022年12月17日(土) 13:30-16:30

オンラインセミナー

1. 管内医療機関と保健所の協力体制の構築
2. 専門医体験談と情報提供
3. 専門医制度の誕生秘話

オンライン懇親会

セミナー後～17:00まで 仲間と語らう懇親会

申込締切

11月26日(土) 先着30名

参加申込は
こちら



詳しくは **全国保健所長会** 検索

主催

全国保健所長会/日本公衆衛生協会
令和4年度厚生労働省地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践活動」事業班
分担事業者 横山勝教(香川県東讃保健所)

問合せ

運営委員長 早川貴裕(栃木県保健福祉部医療政策課)
事務局 日本公衆衛生協会 若井・斉藤
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8
TEL: 03-3352-4284 FAX:03-3352-4605 E-mail: entry.phcd@gmail.com

厚生労働科学研究

「公衆衛生医師の人材育成に向けた好事例の横展開に向けた研究」(令和4年度)

研究班メンバー

この類の課題で、全国保健所長会メンバーが、一班構成の多くを占める研究班は、ここ20年間で初めて

(出典：厚労科研データベース)

役割	氏名	所属機関
研究代表者	町田 宗仁	国立保健医療科学院
分担研究者	武智 浩之	群馬県利根沼田保健福祉事務所
分担研究者	名越 究	島根大学
分担研究者	藤井 仁	目白大学
分担研究者	宮園 将哉	大阪府健康医療部
分担研究者	山本 長史	北海道渡島総合振興局(渡島保健所)
分担研究者	横山 勝教	香川県東讃保健福祉事務所
分担研究者	吉田 穂波	神奈川県立保健福祉大学大学院
研究協力者	尾島 俊之	浜松医科大学
研究協力者	杉山 雄大	筑波大学

厚生労働科学研究

「公衆衛生医師の人材育成に向けた好事例の横展開に向けた研究」(令和4年度)

研究班の活動目的

1. これまでの人材確保から育成までの取組について調査結果をレビュー → 「月刊公衆衛生情報」掲載予定
2. 各地での確保や人材育成の好事例を収集
3. コロナ対応を経ての公衆衛生医師に求められる能力、保有すべきコンピテンシーの分析
- ④ 公衆衛生医師志望者の新規開拓に向けた、若手医師や医学生に公衆衛生業務に関する意識調査
5. 公衆衛生医師の人材育成方策の横展開を推進するための動画などコンテンツ作成

4. 公衆衛生医師志望者の新規開拓に向けた、若手医師や医学生に公衆衛生業務に関する意識調査

1) 医学部学生(5校・約500名)

- 公衆衛生や実習の関心度
- 公衆衛生キャリアに関する効果的なPR方法

2) 国立保健医療科学院

- ① 臨床研修専攻科の修了生(臨床研修医の「地域医療」)(約60名)
 - ② 40代以下の「保健所長研修」修了生(約30名)
- キャリアパスに対する希望
 - 公衆衛生医師になるための条件となる職務環境など

各シンポジストより本日の話題

これでいい！？若手公衆衛生医師のキャリアと育て方

- 「行政機関の医師が持つべき専門性・スペシャリティの育成方法の模索」
（大阪府 宮園将哉先生：代理 北海道 山本長史先生）
- 「職員育成に理解のある環境」
自治体内での公衆衛生医師への理解を深めることの重要性
～確保、育成、定着（群馬県 武智浩之先生）
- 「臨床医から社会医学系専門医へ～行政7年目で見えてきた新しい世界、新しい自分」（広島市 平本恵子先生）
- 「これからの国としての確保、育成施策について」
（厚労省健康局 高橋宗康先生）